



2022年5月27日

各位

本店所在地 東京都港区六本木一丁目6番1号会 社 名 SBIホールディングス株式会社(コード番号 8473 東証プライム)代表 者代表取締役社長 北 尾 吉 孝問い合せ先 責任者役職名 常務執行役員 勝 地 英 之電話番号03-6229-0100(代表)

<u>2022 年 3 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ</u>

当社は本日、当社の「2022年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」の開示を行いましたが、当該開示が決算期末後50日を超えた理由および今後の決算短信の開示について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 決算短信の開示が期末後50日を超えた理由

当社は、2021年12月17日付で、株式会社新生銀行(以下「新生銀行」)を当社の連結子会社といたしました。新生銀行の連結子会社化に伴い、2022年3月期決算において、日本会計基準を採用している新生銀行の2022年3月期末時点の連結貸借対照表ならびに2022年1~3月の連結損益計算書(新生銀行の2022年3月期連結財務諸表は同行より2022年5月13日開示)を当社が採用している指定国際会計基準(以下「IFRS」)に組み替えたうえで、両社を統合した当社の連結財務諸表を作成する必要があり、その作業に時間を要したことから、2022年3月期決算短信の開示が決算期末後50日を超えることとなりました。

2. 今後の決算開示について

当社は、日本会計基準で作成される新生銀行の連結財務諸表の IFRS への組み替えおよび両社を統合 した当社の連結財務諸表の作成の早期化に向け、新生銀行とも連携し体制の整備等を進めており、今後の 決算開示時期については期末後45日を超えることのないよう、適切な情報開示に取り組んでまいります。

以上

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126